

外科

1. 外科の紹介

愛媛大学外科は、「心臓血管・呼吸器外科学講座」・「消化管・腫瘍外科学講座」・「肝胆膵・乳腺外科学講座」の外科系3講座にある「心臓血管外科」・「呼吸器外科」・「小児循環器外科」・「消化器外科」・「小児外科」・「肝臓・胆のう・膵臓・移植外科」・「乳腺外科」の7つの診療科があり、愛媛大学外科全体が一丸となって専門医制度に対応しています。

最先端外科治療・研究・教育を担う愛媛大学医学部附属病院が基幹施設となり、高度な外科治療を行う県内の中核病院、救急も含め手術症例の豊富な地域中核病院、様々な疾患を経験できる地方拠点病院などをローテーションしながら、外科専門医取得に必要な専門知識・技能を効率的に習得できるカリキュラムを提供し、その後のサブスペシャルティ領域専門医取得に道を開きます。

2. プログラムの目的と特徴

外科全領域の知識とスキルだけでなく、「臨床的判断を行い問題解決する能力」、「診断から手術を含めた治療戦略の策定」、「併存症および合併症に関する周術期マネジメント力」、「倫理的に適切な態度や習慣」、「最新の外科技術習得に対応出来る生涯学習やその研究を行うための学習基盤の習得」です。

愛媛県内の殆どの中核病院での研修可能で、県内の様々な地域で研修し、その実情に応じた幅の広い視野を

身に付けることは、キャリア形成に大いに役立つと考えます。

またプログラム研修と平行しながら、大学院に進学し「研究」ができるのもこのプログラムであるからこそ可能な魅力です。臨床で感じるふとした疑問を、自分で解決する術を持つAcademic Surgeon育成も目指しています。

3. 経験目標

3年間の専門研修において、日本外科学会が掲げる専門医制度取得のための最低限の経験（手術経験：3年間で350例以上／術者として120例以上、学術活動：日本外科学会定期学術集会への参加及び研究発表・論文発表

等による20単位以上の取得）だけでなく、サブスペシャルティ領域専門医研修取得に向けた知識と技能の習得を目指します。

4. 専門研修修了後について

専門研修修了後には、希望や状況により、引き続き大学病院や連携施設のスタッフとして診療に従事することが可能です。

また、サブスペシャルティ領域専門医研修への移行や

博士取得のため大学院進学、国内／海外の施設へ短期・長期留学など、個々の希望するキャリアパスに応えることが可能です。

5. 専門研修の問い合わせ先

担当：泉谷裕則（愛媛大学大学院医学系研究科心臓血管・呼吸器外科学講座・教授）

TEL：089-960-5331

E-mail：gekassenmon@e-surgery.jp

6. 各診療科メッセージ

消化器腫瘍外科

私たちは食道外科、胃外科、大腸外科、小児外科から構成され、その対象となる多くの患者さんに“体に優しい手術”としてロボット手術を含む低侵襲手術を届けています。近年の薬物療法や放射線治療の飛躍的進歩も加わり、がんに特化した集学的治療も行っています。

また、その他の良性疾患や炎症性腸疾患、高度肥満に対する減量手術などにも対応しています。すべての患者さんに良質で世界に発信できる外科治療を追求しています。



【問い合わせ先】 担当：押切太郎

TEL：089-960-5975

E-mail：oshikiri.taro.th@ehime-u.ac.jp



肝臓・胆のう・膵臓・移植外科・乳腺外科



四国トップの肝移植実績を誇り、最先端のロボット肝／膵切除、進行癌に対する拡大手術を行っています。術者として胆嚢摘出やヘルニア手術を修得し、血管吻合やロボット手術の修練でステップアップに繋がります。

乳腺部門では画像診断／生検等の術前診断から手術・薬物療法など体系的に乳腺診療を学べます。マンモグラフィ・乳房超音波読影認定医、乳腺専門医の取得を目標とします。女性医師も積極的に受け入れています。

【問い合わせ先】 担当：榎田祐三

TEL：089-960-5327

E-mail：surgery1@m.ehime-u.ac.jp



心臓血管・呼吸器外科

心臓血管外科は、小児から超高齢者まで全年齢層を対象に手術を行っており、低侵襲心臓・血管手術を積極的に導入しています。また、心臓移植は中四国唯一の、成人の埋込型・小児補助人工心臓治療は四国唯一の実施施設です。

呼吸器外科は、呼吸器外科手術を単孔式胸腔鏡やロボット手術を含む低侵襲手術から血管形成を含む拡大手術まで行っています。

地方にあって全国でトップレベルの充実した研修を提供します。



【問い合わせ先】 担当：大谷真二

TEL：089-960-5331

E-mail：shinkoge@m.ehime-u.ac.jp

